

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		事業コード		担当部課	部課コード	060500	2998-9420	
060504		紙おむつ給付事業		介護保険課				
開始年度		平成 12 年度	終了年度	年度	グループ	給付担当		
事業の概要	事業の種類別	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画			所沢市介護保険条例・介護保険法			
	関連・類似事業							
	総合計画の体系	章 健康・福祉	節 社会保障	基本方針	介護保険制度の充実			
事業開始の背景	平成12年4月より介護保険法が施行され、それまで高齢者福祉施策で行っていた紙おむつの支給事業を、要介護高齢者にとって必要性が高いことから、介護保険サービスとして給付することとなった。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	介護の必要な在宅で生活している高齢者に、必要性の高い紙おむつの支給を行い、利用者及び介護者の負担軽減を図る							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	11,540	人		
	所沢市の介護保険被保険者で、要介護・要支援認定を受けている在宅の方			平成 27 年度	12,016	人		
事業の具体的な内容及び実施方法	紙おむつの利用を希望する要介護認定者で施設サービスを受けていない方から給付申請書を受ける(給付対象限度額5,600円)							
申請に基づき、要介護認定の状況を確認して指定事業者に連絡し、指定事業者が紙おむつの宅配を行う。								
利用者は、1割又は2割の自己負担額を月ごとに指定事業者に支払い、9割又は8割分については市が配達完了確認後、事業者を支払う。								
経費	会計種別	特別会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額		149,026	149,795	162,629			
	決算(見込み含む)		132,141	137,639				
	(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(人)	(人)	(人)	(0.20 人)		
	正規職員人件費		1.10 人	9,593	1.10 人	9,526		
	事業費合計		141,734	147,165				
	財源内訳	一般財源		18,222	18,961	10,235		
	国・県支出金		25,888	28,302	30,700			
	その他		97,624	99,902	121,694			
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	利用件数	年間配達件数	件	35,602	37,385	42,943	45,381
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	紙おむつ利用実績	紙おむつ利用件数 ÷ 対象者	件	目標値 3	3	3	3
				実績 3	3	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図る	<input type="checkbox"/> 実績縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率 100	100	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	見積もり方法を変更し、同等品と思われるものの洗い出しをした上で競争見積りを行った事により購入単価を低減できた。							
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由			
		<input type="checkbox"/> 終了		<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	紙おむつ給付は要介護高齢者からのニーズも高く、高齢者の引きこもり防止や委託事業者による独居高齢者等の安否確認の面から有意義であるため。			
			次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由 引き続き、給付対象者及び利用率の増加が見込まれるため。			
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性				
	以前実施した実態調査においても、紙おむつの給付は必要とする回答が多数あった一方、実質的な購入単価が安く不必要に購入し退蔵となっているとの指摘があり見直しを行うべきとの意見もあった。こうした声を受け、昨年度から新規の軽度者については必要の是非を医学的な所見に求め、ある程度の支給削減に寄与したと思われる。			今後、総合事業の開始に伴い、地域支援での予算獲得が困難と思われる、ある程度の対象者の絞込みなどが必要と思われる。				
	評価日	H28.8.19	評価者職氏名	介護保険課長 井上 典				
環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	紙類での申請受付	規制を受ける環境法令等	無	緊急事態	無